

<基本理念>

「子どもを産み、育てる人にいつも寄り添い、すべての子どもが健やかに育つ三重」

<現状・課題>

- 地域社会でのつながりの希薄化等による育児中の家庭の孤立化
- 育児の負担感や育児不安を抱える親・家族が増加
- 産後の一定期間の時期におけるサービスが不十分
- 関係機関の間での情報共有などの連携が不十分

市町の体制整備  
に向けた取組を  
支援

<体制整備に向けた4つ視点>

- 継続的な支援
- 予防的支援
- ワンストップの支援
- 家族支援

三重県の出産・育児支援体制

「出産・育児まるっとサポートみえ」により

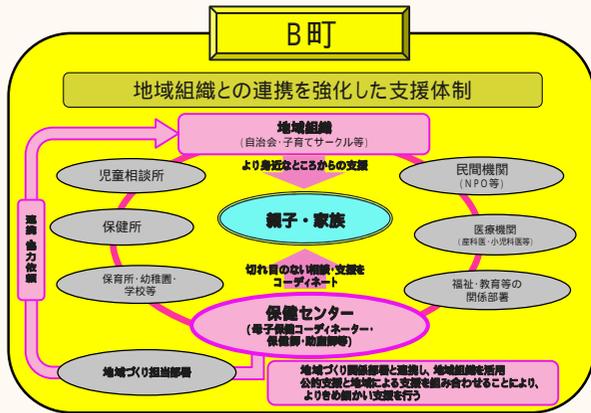
基本理念の実現をめざします

「出産・育児まるっとサポートみえ」が整備されると・・・

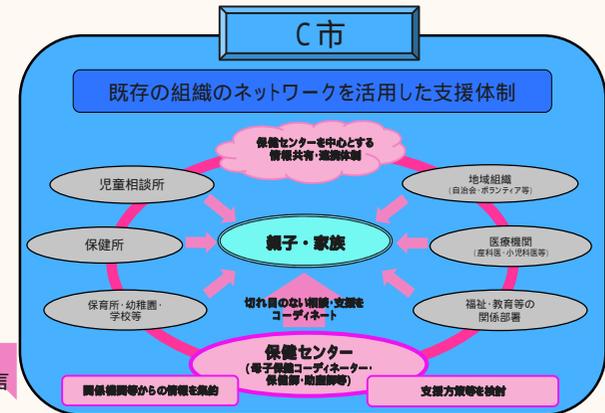
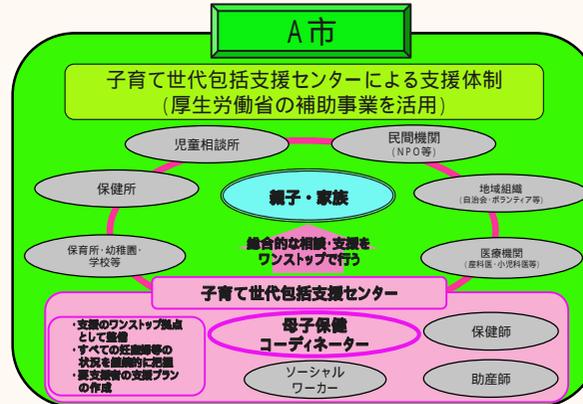
妊娠・出産から育児に至るまでの間、切れ目なく必要なサービスが受けられます  
市町の窓口で出産・育児に関する相談支援をワンストップで受けられます  
すべての人が地域の身近なところで気軽に出産・育児のサポートが受けられます  
母親と子どもだけでなく、父親や祖父母等の家族も必要なサービスが受けられます

「出産・育児まるっとサポートみえ」のイメージ

すべての市町において切れ目のない母子保健  
サービスが提供されている。



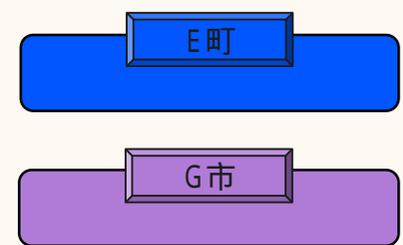
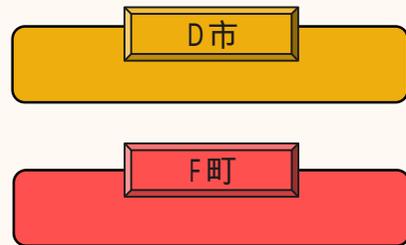
それぞれの市町が地域の強みを活かした  
母子保健体制を整備している。



三重県

<県の取組 = 市町の支援体制の整備の土台づくり>  
母子保健コーディネーター、育児支援ヘルパーの人材育成及び活用促進  
母子保健体制構築アドバイザーによる市町支援  
・母子保健に関するデータの収集・分析及び市町への情報提供  
・市町の母子保健体制の構築等に向けた情報提供や助言  
思春期ライフプラン教育や不妊・不育症治療に対する助成制度等の充実  
県医師会、県産婦人科医会、県小児科医会等の関係機関との総合調整  
地域社会全体で育児中の家庭を支える風土の醸成

画一的な支援体制の整備を進めるのではなく、  
個々の地域の実情に応じた多様な支援体制を整備する。



⋮

⋮